

ジャパニーズウイスキー輸出状況について【2021年12月度】

1月28日、財務省より2021年12月度の貿易統計が公表された。これにより2021年1年間のウイスキーの輸出数量・金額についても明らかになった。その数値は次の通り。

【輸出量】

2021年12月 約68万リットル／対前年同月比 ▲6% (減)
1～12月累計 約1,255万リットル／対前年同累計比 36% (増)

【輸出金額】

2021年12月 約29億円／対前年同月比 4% (増)
1～12月累計 約462億円／対前年同累計比 70% (増)

【現状】

2021年12月の輸出金額は前年実績を4%上回り、2020年6月度以降は19ヵ月連続して対前年同月比でプラスの金額を記録している。ただし輸出量は2ヵ月続けて対前年比でマイナスとなった。2021年の合計輸出金額は約462億円(461億5千万円)となり、500億円台達成はならなかったが、過去最高を記録した2020年の約271億円を大きく更新した。

また2021年のウイスキー輸入は、数量約5,390万リットル(5%増)、金額約473億円(6%増)と、ともに前年を上回った。輸出入の差額は11億円程度の輸入超過であった。

なお他の酒類の2021年輸出統計は次の通り。

	輸出金額 (対前年比)	／	輸出量 (対前年比)
清酒	約402億円(66%増)	／	約3,205万リットル(47%増)
ビール	約74億円(28%増)	／	約5,750万リットル(19%増)
ジン	約30億円(74%増)	／	約425万リットル(71%増)
焼酎	約17億円(45%増)	／	約278万リットル(55%増)

以上